

2011年7月27日

東京工芸大学 工学部建築学科教授 田村幸雄 国際風工学会 IAWE 会長に再選

東京工芸大学(学長:若尾真一郎、所在地:東京都中野区/神奈川県厚木市)工学部建築学科教授の田村幸雄が国際風工学会 IAWE(International Association for Wind Engineering)の会長に再選されました。

田村は2004年から2008年まで日本風工学会会長を務め、2007年7月に国際風工学会 IAWE 会長に就任。2011年7月に任期満了となりましたが、同12日にオランダ・アムステルダムで開催された国際風工学会の総会で、過去4年間世界をリードしてきた実績と成果が高く評価され、満場一致で会長として再選されました。任期は2015年まで4年間。



ドバイのバルジ・カリハ、東京のスカイツリーなど世界中で超々高層建築物や大スパン構造物が建設されている現在、耐風設計の重要性は増大しています。また、2008年に14万人の死者行方不明者を出したミャンマーのサイクロン、2005年の米国のハリケーン・カトリナなどの甚大な強風災害は、気候変動などの影響もあり、近年、著しく増加しています。強風災害リスクの低減や都市域の大気汚染、風環境の問題など、風工学の担うべき重要課題は多く、緊急性の高いものばかりです。国際風工学会 IAWE への参加国は世界98ヶ国に及び、各国が協力して、風工学に関する教育、および学術、技術の発展のための研究を推進するとともに、国連機関等と協力した防災活動なども行っています。

再任にあたり田村は「さらに4年間という、さすがに長いですが、気候変動や温暖化の問題もあり、強風災害リスクの低減や都市環境改善など、緊急課題が山積ですし、世界中に安心、安全な社会を実現するため、全力を尽くしたいと思っています」とコメントしています。

田村幸雄 プロフィール

1971年 早稲田大学大学院理工学研究科 修士課程修了。工学博士。

(株)MUSA 研究所にて建築構造設計に従事し、1983年に東京工芸大学へ着任。1989年から教授。

米国ノートルダム大学、ポーランド・オポール工科大学、南京航空航天大学、同済大学、哈爾濱工業大学、深圳大学、浙江大学、北京交通大学ほかの客員教授、顧問教授、荣誉教授を併任。

1993年日本建築学会論文賞、1994年日本風工学会論文賞、2004年米国土木学会 ASCE・Jack E. Cermak Medal を受賞。

2004年から2008年まで日本風工学会会長、2007年から国際風工学会会長(2011年再任)。2009年から国連国際防災戦略 ISDR の課題別グループ・風関連災害リスク低減のための国際グループ IG-WRDRR 議長
2003年度から2007年度まで文部科学省 21世紀 COE 拠点リーダー、2008年度からはグローバル COE プログラムの拠点リーダーを務める。

2006年から日本学術会議・連携会員。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

東京工芸大学 学事部広報課
担当：田川、林

電話：046-242-9600 / FAX046-242-9638
e-mail：university.pr@office.t-kougei.ac.jp